

「県政ながの」諏訪支部長 金子ゆかり

一雨ごとに木々の葉が色を変え、すっかり秋も深まる季節になりました。私たちの生活の背景は、海外経済の減速、個人消費の後退に日中関係の悪化も影を落とし、景気判断も厳しい方向に転換されました。加えて、国会の硬直状態も世の停滞感を増しています。消費税は上りますが、税の出口の大きな課題である社会保障改革の方向は見え、今年度の予算執行の裏づけとなる公債特例法案（赤字国債発行法案）の棚上げで、地方自治体の財布のやりくりにもしわ寄せが来ている。政局は不安定さを増し、いよいよ国民の決断が鍵となる時が近づいています。着実な政策は誰に託せるのか、皆で見極めていきたいと思います。

一方夏のロンドンオリンピックで日本選手活躍に沢山の元気をもらいました。そして今年は技能五輪とアビリンピックの全国大会が長野県で開催となり、諏訪会場でも若者の熱気が溢れました。こうしたひとつつつ、そして一人づつの元気の寄せ集めが私たちの明日の夢と希望に繋がるものと信じます。今後とも、皆様と共に地域の元気を創って行きたいと思っています。

これから、寒さに向かう季節に、くれぐれもご自愛の程お祈り申し上げます。

◆長野県議会9月定例会 議会報告◆

■県単独公共事業費30億円余を含む経済・雇用情勢への対応、通学路の安全対策等こどもの安全・安心確保、など補正予算案63億1861万円余を可決しました。■知事の提案説明に基本構想（素案）が示された新たな県立4年制大学の設置、いじめや教員の不祥事への緊急対策、特別養護老人施設整備促進、次期県環境エネルギー戦略への要望、商工業、誘客促進施策の充実など議論し、森林づくり県民税の継続を決めました。■委員会付託とした教育委員の選任は、知事と教育委員会との十分な連携が図られていなかったことなどにつき、議会としては今後の改善を申し入れ、桜井氏の選任には同意しました。

◆一般質問に登壇しました◆

夏の間に登った北アルプスのトイレ事情や八ヶ岳の硫黄岳付近での鹿害の状況を見聞し、「山岳環境を考えるシンポジウム」での議論を聴く中から山岳環境について二ホンジカの高山植物食害、山腹踏み荒らし、山岳トイレの整備と有料化の見通し、山岳救助の近況と財源について、質問しました。

知事からは、世界レベルの観光地にしていくため、世界標準の山岳リゾート地域に必要な観光振興とその施策を考えていく、との答弁がありました。

また、環境省の新たな水質基準（透明度と溶存酸素）の第6期諏訪湖水質保全計画、第5次長野県水環境保全総合計画などへの反映について、また知事の夏の諏訪湖視察の時に提案のあった、「諏訪湖環境改善行動会議（仮称）の設置」に関して、環境部長及び建設部長に今後の取り組みなどの所見を求めました。部長からは新しい基準も踏まえ、幅広い人々と調査検討を継続していくとの答弁を得ました。諏訪湖は国内の水質改善のトップランナーです。皆で協力支援していきたいと思っています。

意見書案を可決しました

- ・地方交付税の適正な執行を求める意見書
- ・特例公債法案の速やかな可決を求めました（県政ながの発議）
- ・中小企業支援策の拡充を求める意見書
- ・こころの健康を守り推進する基本法（仮称）の制定を求める意見書
- ・森林・林業基本計画の着実な推進を求める意見書
- ・MV-22オスプレイの飛行訓練に関する意見書
- ・第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する決議案

「森林づくり県民税」を可決しました

本会議でも議論がありましたが、委員会では集中審議時間を設けて審議しました。継続にあたり、里山整備を引き続き重点的に行うこと、使途拡大にあたり、間伐材の利活用をすすめ水源林保全対策に一定のルールを設けるなど適切な内容にすること、早急に具体的な制度内容を構築し関係団体県民等に周知すること、を申し入れました。

●諏訪湖流域下水道の屋根貸しによる太陽光発電と、「再生エネルギーの固定価格買取制度」を利用した木質バイオマス発電施設（塩尻市）の「F・パワープロジェクト」が特区申請されました。

9月補正にて予算づけされた諏訪市の箇所

- 交通安全対策：ヨットハーバー前の信号機改良
- 道路：県道諏訪辰野線（高島）（小和田）
- 河川：新川（湖南）小田井沢（大熊下）
- 砂防：緊急傾斜地崩壊対策（神宮寺）
- 治山：滝沢川（神宮寺）、唐沢山（岡村）、宮山（諏訪大社上社）

矢崎教育委員長退任

教育委員会を太い気持ちで支えてこられた、矢崎和広教育委員長が退任されました。

←写真左から2人目が矢崎和広氏

インターネットのサイト「政治山」にコラム「長野県の議会活動を通して感じる日本再生の不可避の課題」を書きました。ご覧ください。アドレス: <http://seijiyama.jp/special/>

ゆかりんの県政報告



発行責任者 金子ゆかり

**農政林務委員会**  
県内各地方事務所や森林づくり県民税活用事業実施箇所等の現地調査、関係者懇談をしました。（7/19-20）

▼広域ライスセンター和田を視察

●須坂市にある県産材利用の保育園を視察

東北各地を県外視察調査（10月23日～25日）

●バイオマス発電の先進事例「グリーン発電会津」の若き齊藤専務に激励されました。→

**選挙区・定数研究会**

2年近くに亘り検討を進めてきましたが、選挙区の単位を「郡市」とするのか「市町村」とするのか、自民党案、民主党案どちらも結論を得ていません。その結果によっては、飛び地選挙区ははじめ大幅な見直しとなることから、今回も選挙区、定数とも現状維持との検討結果を議長に報告しました。「県政ながの」としては、会派提案として、せめて一票の格差を2倍以内とするとした具体案を示しましたが、採用にならず、残念でした。

**会派「県政ながの」**

◆青森県視察（8月7日～9日）

土づくりからの農業施策について

▲三沢基地視察

●昨年のマニフェスト大賞を受賞した、葛西弘前市長に行政マネジメントのお話を伺いました。

**がん征圧議員連盟**

【がん対策推進条例（仮称）制定検討調査会】では条例のたたき台となる会長案について議論し、信州大学附属病院、県立こども病院や県外も訪問し意見交換を行うなど、順次条例案の原案作成を進めています。

▲9/4. 群馬県日高病院視察 群馬県庁視察→

▲9/5. 神奈川県庁視察

●重粒子線治療機器を整備するなど放射線治療では先進県の群馬県にがん対策条例に関連してお話を伺ってきました。

10/16. 信州大学附属病院視察

●県のガン登録を委託している部屋は手狭です。改善が必要ですね。

**こどもの環境整備議員連盟**

役員会を開き、次世代サポート課、こども家庭課、教育委員会、警察本部少年課などの課長クラスを招き、昨今の子どもを取り巻く事件、事故と関係する条例の検討状況や方向性について懇談しました。

◆神奈川県視察（9月5日～6日）

防衛大学校視察

●前神奈川県知事の松沢成文氏から受動喫煙防止条例制定の苦労話を聞きました。

●国分良成学校長（慶心の先輩）の講話を伺い、懇談をしてきました。

金子ゆかり後援会活動

皆様と懇親を深める【ゴルフ大会】、【マレットゴルフ大会】、【黒部のトロコ電車の旅】などを賑やかに、楽しく、また無事にできましたことを大変嬉しく思います。

沢山のご参加頂いた皆様、ご協賛の皆様、そして運営頂いた役員、事務局の皆様、心より感謝申し上げます。

金子ゆかり

10/20. 第7回親睦マレットゴルフ大会

9/9. 第10回親睦ゴルフコンペ

10/10. 黒部のトロコ電車の旅バスツアー